

本日の東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議決定事項

本日の会議では、前会議にて決定した『優先的に取り組み連携課題（10 課題）』の成果、今後の課題・予定について各機関より報告を受けたうえで、下記平成 25 年度活動計画を決定しました。

平成 25 年度活動計画のポイント

◎「中部圏地震防災基本戦略」の中の『優先的に取り組む連携課題（10 課題）』を継続して推進

◎南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会 広域連携防災訓練の実施

想定地震：南海トラフ巨大地震

- 平成 25 年 8 月 31 日（土） 政府現地対策本部訓練（図上訓練）
 - ・ 政府緊急災害現地対策本部設営・運用訓練等
- 平成 25 年 9 月 1 日（日） 広域連携訓練（実働訓練）
 - ・ 広域防災拠点や道路啓開・航路啓開・排水オペレーションなど連携課題の検証
 - ・ 関係機関との連携訓練等

◎『優先的に取り組む連携課題（10 課題）』の相互連携の推進

- ・ 成果の実効性を向上させるため「連携課題」が相互に連携するうえでの課題を抽出
- ・ 連携課題の成果への反映
- ・ 訓練による検証

詳細は次ページをご覧ください

◎防災教育における新たな取り組み

- ・ 個別訓練タイムトライアル
- ・ シェイクアウトなどの実施

※ ◎UTMグリッド地図の利用促進

- ・ 広域防災訓練での活用
- ・ 訓練を通じた課題の抽出

◎民間企業・NPO等との連携推進

- ・ 防災意識啓発イベント
- ・ 地震防災訓練等の連携推進

◎救援・救助に関する関係機関の連携

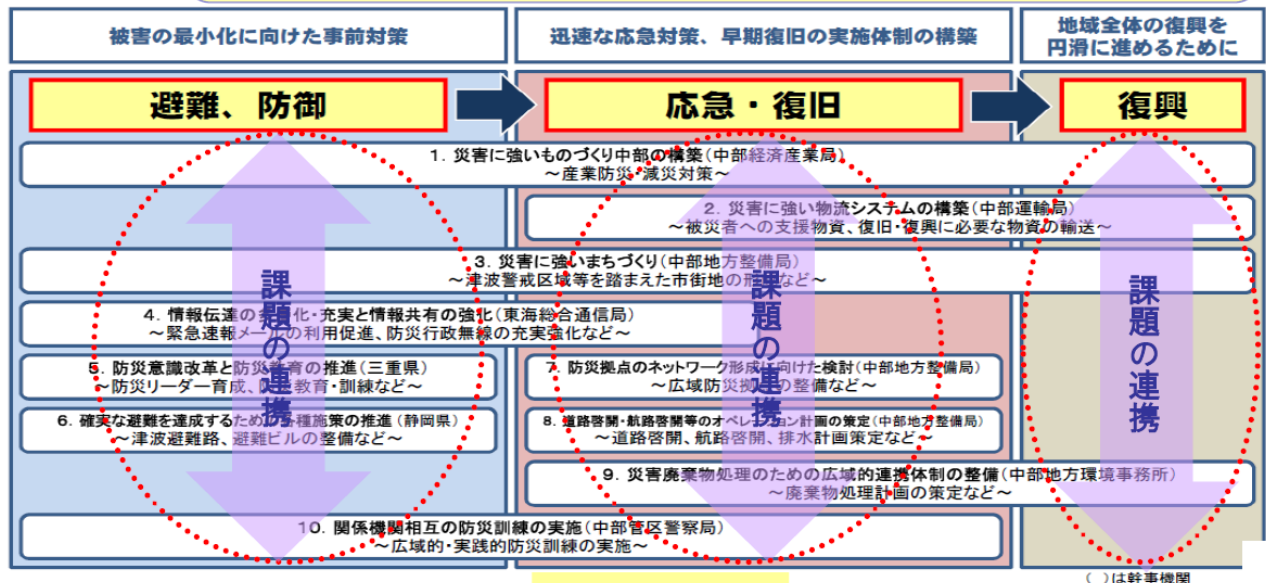
- ・ 広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討

※UTMグリッド地図：座標「UTMグリッド」を組み込んだ地図で、大災害や大事故で救援部隊を派遣する際の場所特定などの場面で、各機関の連携に利用できる。

優先的に取り組む連携課題相互の連携推進

◎方針

優先的に取り組む連携10課題について、それぞれの成果の実効性を向上させるため、**課題相互の連携の必要性の検討及び連携するうえでの課題を抽出し、それぞれの成果へフィードバックする。**



各段階毎に「連携課題」を運用した場合の課題を抽出

○連携課題の成果への反映 ○新たな課題を検討

優先的に取り組む連携課題相互の連携推進

1. 連携の事例

◎迅速な応急対策、早期復旧に向けた物流ネットワークの構築

1. 災害に強いものづくり 【企業】
2. 災害に強い物流システム 【物資ストック・輸送】
7. 防災ネットワーク 【物資受け入れ、分配拠点】
8. 道路啓開・航路啓開 【輸送手段の確保】

2. 推進方策

- ・関係機関によるWG等の開催
- ・他機関も含めた検討結果の共有
- ・訓練での検証